

## 第1章 年賀絵はがきの世界

山田俊幸 11

## 1 明治・大正の年賀絵はがき——一九〇二年(明治三十四年)から二三年(大正十二年)まで 11

圧搾機械製造発売元の年賀絵はがき／羽根を突く女性／晴れ着の「お芽出たうー」／京都市五条西洞院・六神丸／雪中の旅芸人絵はがき／皇居、桜田門と恭賀新禧／占領／「東京日日新聞」の雪中の海軍兵／雪中の守備／梅の枝と踊る鯛、恭賀新春絵はがき／鶴のお酌／セセッション様式の年始状／占領地のしめ飾り／戦勝の新年／NANIWAYA&Co.の年賀絵はがき／山元春挙の馬／親子の「きんがしんねん」／寺からの「謹賀新年」／四つ葉のクローバーとハート／コウモリと月／田舎風景の謹賀新年／応挙の梅とヤギ／海上の朝日／川端玉章の賀正／今様弁天／浅草橋凱旋塔／白梅のNew a Happy／太田三郎の羽根突き／ハート紳士／猿の書き初め／不景気な年は申る年、良い酉年の年賀絵はがき／朝日の鶏絵はがき／花のデザイン・1909／榊原一廣の酉の絵はがき／織田東馬のアヒルに泣く子／鏡に映る日輪／1909年の酉歳年賀絵はがき／酉年、1909年の年中行事／電話する女／空中鉄道・年賀絵はがき／枝か文字か／3匹の子犬・戌年年賀絵はがき／文学者・西村渚山の戌歳絵はがき／亥年の和デザイン／小判と銀色ネズミ／ネズミおかめ／ネズミの高座／ネズミ模様の鍔／ネズミの小倉百人一首／賀状を持つ浪子／牛の大正諒闇中年賀絵はがき／諒闇の牛／小倉百人一首絵はがき／尾竹越堂の雪だるま／タツノオトシゴと三つの矢羽根／跡見花蹊の雲龍／宝珠を抱くへび／1920年の勅題「田家早梅」／M×M広告絵はがき／橋口五葉の猿の舞／お正月／鶏とモダンな餌箱／キャンバスと少女／ヒヨコの門付け／ヒヨコを掲げる少年／板倉賛治のブルドッグ

／獵銃を持つ少年と和装の少女／京都、藤村寿栄堂の年賀絵はがき

## 2 大正・昭和の年賀絵はがき——一九二四年(大正十三年)から四三年(昭和十八年)頃まで 82

ネズミのスケート／時計と宝飾絵はがき／牛の餅つき／天翔る龍／タコ、ハゴイタ、オトコノコ、オンナノコ／本を持つ女／昭和を迎える雪うさぎ絵はがき／ウサギの姉妹(卯年)／川崎巨泉の「とばえ」／月とウサギ／松竹座の辰歳絵はがき／高岡市・家具屋の1928年おしゃれ広告／クローバーの高橋春佳年始状／金庫製作所の社員集合／荒木寛畝の馬の群れ／化粧する女／復興都市のデパート／羊を抱く毛断嬢／未年木版年賀状／ラクトーゲン年賀絵はがき／猿の隈取り／長谷川小信の猿まわし／平井樞仙の三猿／SZNの「お猿の砲弾投げ」／お猿の野球絵はがき／産業と観光の大博覧会(主催・金沢市)・年賀絵はがき／Atsuoのモダン賀正／柿の旭日／近衛歩兵第四連隊営門／ペルメル広告絵はがき／時を告げる鶏／爪哇スラバヤの椰子の木陰／3匹の犬／重なる色変わりイノシシ／お供えを持つ女の子／酒井三良子の「獅子」／衣桁の晴れ着／ネズミと馬の曲馬／ネズミの家族／一魁斎芳年の『猫鼠合戦』／宮尾しげをの文楽天神記の牛／花を持つ少女／虎の親子／蒲の穂をくわえるウサギ／旗とちようちんのピョンピョンウサギ／波乗りウサギ／郷土玩具・和泉サカイ人形のウサギ／卯の名は司馬または閻閼摩姑羅大将と号す／金鶴香油の賀春絵はがき／スキーと子ども／こけし「興亜新禧」／皇軍大捷国威宣揚の新春

## 第2章 ゲストキュレーターズ研究エッセー

1 兄・織田東禹の遺産——一九〇〇年前後(明治三十年代)の織田二磨の修業時代 小池智子 135

2 大正の少女雑誌の正月 田丸志乃 140

### 第3章 年賀絵はがき史攷

山田俊幸 162

- 3 勅題から見る年賀はがき 竹内唯 148
  - 4 慶賀図像の由来 大平奈緒子 154
  - 1 私製の年賀絵はがきが登場するまで 162
  - 2 一九〇二年(明治三十四年)、年賀絵はがき元年 163
  - 3 日露戦争での役割 166
  - 4 「ハガキ文学」と絵はがき趣味の涵養 167
  - 5 関東大震災による絵はがきイメージの変化 169
- 資料 絵はがき史参考年表 171

西暦・元号・紀元・勅題対応表 田中冬木作成 矢原章監修 177

おわりに

山田俊幸 180